



# あじろさんぽ

第7回は『おとなの遠足』と題し、学生時代の定番「奈良」の地を、ふたたび巡る秋の旅に出かけました。日本最初の都であった奈良には、教科書や資料集に書かれているものばかりではない歴史が今もそこかしこに息づいています。奈良時代から現在まで折り重なった歴史を感じる「きたまち」エリアを巡りながら、花咲く奈良の気持ちよさをぜひ、体感してください。  
(総行距離4km)

赤字 ... ご紹介場所    黒字 ... 主要駅名称  
 緑字 ... 主要道路名称    青字 ... 他の観光地、目印になるような建物

■奈良豆比古神社■

毎年10月の秋祭の宵宮で披露される「翁舞」はユネスコの無形文化遺産にも指定され、能楽にも大いに影響したといわれています。境内裏にそびえたつ樟の巨樹は圧倒されること間違いなし。  
 ※資料館見学は事前申込制。

【アクセス】  
 車:ホテルより約15分  
 バス:「奈良坂」下車

■西福寺■

奈良豆比古神社のおとなり、地元の住民に親しまれるお寺があります。境内には、藤原時代に作られた本尊も含めて6体の仏像が安置されており、重要文化財に指定されています。  
 ※本尊以外の5体は通常拝観不可。

【アクセス】  
 車:ホテルより約15分  
 バス:「奈良坂」下車

■般若寺■

奈良の「花の寺」といえばと考えた時、必ず名前の挙がるお寺です。「南都焼き討ち」をはじめとする戦禍に苛まれながらも、奈良の歴史を今に伝え続けています。  
 ※通常拝観料 500円  
 開花シーズンは700円

【アクセス】  
 車:ホテルより約10分  
 バス:「般若寺」下車

■五劫院■

落語「寿限無」の一節「五劫のすりきれ、海砂利水魚の～」で知られる五劫の意味を、改めて知ってみませんか？本堂には、通称「アフロの阿弥陀様」とも呼ばれる重要文化財「五劫思惟阿弥陀仏坐像」も安置されています。  
 ※本尊は通常拝観不可。

【アクセス】  
 車:ホテルより約10分  
 バス:「今在家」下車

地理院地図